

γCD包接トコトリエノールを上市

シクロケム

美肌、美白、神経保護作用で訴求

シクロケム(神戸市中央区)は、γシクロデキストリン(γCD)包接型トコトリエノール

を開発、年内にも上市を予定する。

同社が採用するトコトリエノールは、熱帯ア

フリカや西インド諸島が原産のアナトール豆から抽出したもので、δ(デルタ)トコトリエノール含有量90%、γトコトリエノール含有量10%で構成されている。

トコトリエノールは、近年の研究によりトコフェロールも強い抗酸化作用を持つことが明らか

にされており、「スーパービタミンE」とも呼ばれている。その中でもα、β、γ、δの類似体があるが、「メチル基の少ないδトコトリエノールが最も抗酸化作用が強く、真のスーパービタミンEと言える」(寺尾啓二社長)。

トコトリエノールは抗酸化力が強い一方で不安定なことから、同社ではγCDで包接することに

より安定化に成功した。さらに、国立健康栄養研究所との共同研究では

γCDで包接することにより吸収性が向上することも確認している。

機能性については、大

阪市立大学の西川教授と線虫を対象に共同研究を実施。α、β、γ、δの

トコトリエノールのみで包接して与えた結果、トコトリエノールのみでは延命効果を認めなかった

が、γCDで包接することにより延命効果を認め、特にδトコトリエノールをγCDで包接したものに最も強い延命効果を確認している。

また、δトコトリエノールはこれまでの研究により、角質層への蓄積と皮膚損傷治療作用、メラニン色素沈着抑制(美白)作用、神経保護作用などが示唆されている。

同社では、δトコトリエノールを高含有するγCD包接型トコトリエノールを、これら作用で打ち出し、初年度1000キログラムを販売目標としている。